



吸湿木炭「炭八」

産官学連携功労者表彰受ける

県内で唯一

産学官の連携による新製品開発などで産業振興を図る中国地域コラボレーションセンター(中国経済産業局など構成)は、中国地域産学官連携功労者として「建材系木材の調湿木炭の有効利用」研究を進めた、北村寿宏・島根大学産学連携センター助教授、石飛裕司・出雲土建社長を表彰することを決めた。同センターによる功労者表彰は初めてで、県内の受賞は中国地方十二件のうち唯一。

調湿木炭は「炭八」の商品名で、出雲土建子会社の出雲カーボン(同)が製造販売。同社は一年十二月に出雲市下古志町に約五億円を投資して



床下調湿木炭「炭八」の敷設の様子

建設リサイクル法に定められた廃木材や木製パレットを原材料にしたチップを原料としたチップ。建設。当初より北村助教授の指導を受け、燃焼温

度を摂氏八百度にして炭素含有率93%にするこ

となどを進めてきた。

化工場と炭化プラントを度を摂氏八百度にして炭素含有率93%にするこ

となどを進めてきた。

調湿の研究は〇二年一月から始められ、炭一キログラムあたり二十二・九%の湿気を取り除く効果があり、床下に敷くと柱材の湿度を三年間でシロアリの来ににくい含水率20%以下に引き下げる効果が認められた。

コラボレーションセンターではこうした共同研究の実績を「安価な木材の有効利用を目的に、調湿や吸着材に利用できる木炭製造技術を開発して、地場産業への技術移転により商品化に成功し、販売を開始している」と評価した。

受賞について北村助教授は「大学と企業が一緒にになって島根で新しい産業が始まったことがうれしい。調湿材の炭化方法やった。共同開発を進めている事例はたくさんあるが、ちゃんと収益が上がってきたいる」と話している」と話している

月から始められ、炭一キ

ログラムあたり二十二・九%の

湿気を取り除く効果があ

り、床下に敷くと柱材の

湿度を三年間でシロアリ

の来ににくい含水率20%

以下に引き下げる効果が

認められた。

コラボレーションセン

ターカーではこうした共同研

究の実績を「安価な木材

の有効利用を目的に、

調湿や吸着材に利用でき

る木炭製造技術を開発し

て、地場産業への技術移

転により商品化に成功し、

販売を開始している」と

評価した。

受賞について北村助教

授は「大学と企業が一緒に

になって島根で新しい産

業が始まったことがうれ

しい。調湿材の炭化方法

やった。共同開発を進め

ている事例はたくさんあ

るが、ちゃんと収益が上

がってきている」と話してい

る」と話している

る。

石飛社長は「建設業界

のこれからを考え、北村

先生の指導で全社員一丸

となつてやってきた。そ

れが認められうれしい。

結果が出てくるのに三年

かかつたが、日本の調湿

建材ブーム先駆けになっ

た。出雲初の全国プラン

ドになる」と話している。

「炭八」の販売額は十

二・八入りの不織布で六百

三十円。同社ではこのほ

どになる」と話している。

<p